10/9/1
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI
(c) 2001 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

004676227

WPI Acc No: 1986-179569/198628

XRAM Acc No: C86-077296 XRPX Acc No: N86-133970

Mould for ceramic moulding using plastic foam - prepd. by impregnating soft plastic resin foam with soln. of water soluble cpd. e.g. sodium

chloride, then hardening by cooling Patent Assignee: HITACHI LTD (HITA)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No Kind Date Applicat No Kind Date Week

JP 61112602 A 19860530 JP 84233137 A 19841107 198628 B

Priority Applications (No Type Date): JP 84233137 A 19841107

Patent Details:

Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes

JP 61112602 A 3

Abstract (Basic): JP 61112602 A

A mould prepd. by impregnating a soft plastic foam contg. air-cells or pores with a soln. of a water-soluble cpd., and hardening by cooling and the like. Pref. the plastic foam is made from polyurethane, polyethylene, polyvinylchloride, polyamide, polypropylene, polyvinylalcohol and their derivs. or that the water soluble cpd. is NaCl, KCl, CaCl2, Na2CO3, K2CO3, Na3PO4, Na2HPO4, or MgSO4.

USE/ADVANTAGE - This mould is useful esp. as a core of a mould into which slurry of refractory powders and water is cast for moulding, preventing the moulding from cracking due to the high compressibility. The mould has high tensile and flexural strengths, and can be rendered thin and large in size. The water-soluble cpd. filling the cells or pores absorbs the water of the slurry, enabling the mould to be deformed, which serves to prevent the moulding from cracking when solidified with shrinking. (3pp Dwg.No.0/0)

Title Terms: MOULD; CERAMIC; MOULD; PLASTIC; FOAM; PREPARATION;

IMPREGNATE;

SOFT; PLASTIC; RESIN; FOAM; SOLUTION; WATER; SOLUBLE; COMPOUND; SODIUM:

CHLORIDE; HARDEN; COOLING Derwent Class: A32; A88; L02; P64

International Patent Class (Additional): B28B-001/26; C08J-009/40

File Segment: CPI; EngPI

Manual Codes (CPI/A-N): A12-H05; A12-S04; L02-A03

Plasdoc Codes (KS): 0209 0231 0239 0248 0759 1283 1294 1990 20

Plasdoc Codes (KS): 0209 0231 0239 0248 0759 1283 1294 1990 2007 2482 2499 2536 2537 2631 2632 2635 2745 3316

Polymer Fragment Codes (PF):

001 014 04- 041 046 047 050 061 062 063 141 150 231 244 245 466 472 49-

491 53- 54& 551 567 569 570 573 623 629 678 688

Derwent Registry Numbers: 1287-U; 1391-U; 1678-U; 1680-U; 1688-U; 1690-U;

1706-U; 1895-U

?t 11/9/1

9 公開特許公報(A) 昭61-112602

Đ[nt,Cl,⁴

識別記号

❸公開 昭和61年(1986)5月30日

B 28 B 1/26 C 08 J 9/40 101

6865-4G 8517-4F

庁内整理番号

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

❷発明の名称 セラミツクス成形用鋳型

②特 図 昭59-233137

母出 顧 昭59(1984)11月7日

土浦市神立町502番地 株式会社日立製作所撤被研究所内 母 明 者 渡 辺 英 土浦市神立町502番地 株式会社日立製作所掛板研究所内 者 土浦市神立町502番地 株式会社日立製作所撥板研究所内 砂発 明 者 名取 描 土浦市神立町502番地 株式会社日立製作所機械研究所内 山田 宏 の発明 者 土浦市神立町603番地 土浦接械工業株式会社内 砂発 明 敬 者 小 池 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地 切出 腹 人 株式会社日立製作所 外1名 30代 理 人 弁理士 高橋 明夫

明報書

- 1. 是明の名称 セラミツクス成形用領型
- 2. 特許課金の集員

1. 気泡または気孔を包含する軟質のフオームプラスチンク成形体に水溶性化含物の溶液を含度させ、乾燥、冷却などの方法によって硬化させたことを特徴とするセラミックス成形用緑型。
2. 特許課意の範囲第1項記載の鋳型において、フオームプラスチックがポリウレタン、ポリエチレン、域化ピニール、ポリアミド、ポリアロピレン、ポリビニールアルコール及びその誘導といってあることを特徴とするセラミック成形用鏡型。

3、特許請求の範囲無1項記載の値型において、フォームプラスチックに含接させる水準性化合物が塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、リル酸3ナトリウム、リル酸水番3ナトリウム、繊酸マグネシウムのいずれかであることを特徴とするセラミンク成形用値型。

3. 発明の辞細な説明

(発明の利用分野)

この発明は耐火物の複包子と水からなるスラリーを注入してセラミンク成形品を成形する際の時間、特に中子に舒適なセラミンクス成形用装型に関する。

(発明の背景)

世来スラリーを型に注入してセラミックスの番材を成形するいわゆるスリップキヤステイング法では最本性を有する研究(例えば特別昭57~176107号公便で記載される石こう研究)を用いて注入したスラリーの水分を受取させ迅速に高層をせることが行なわれている。しかしこれらの時代中子)は強度が大きく、変形しにくいため、スラリーが脱水して震闘する顔の収縮を妨げて、セラミックスの番材に割れを発生させる欠点があった。

(表明の目的)

本発明の目的は、過型に充分な可能性を与え、 基個したセラミックスの割れを防止することが可 様なセラミックス用袋型を焼餅することにある。 〔元明の振襲〕

本発明の特徴は軟質のフォームプラステック (発信性プラステック)を特型の素材とし、これ に水溶性物質に水溶液を含浸させ、冷却あるいは 気垢することにより水溶性物質を調酬または折出 させて研究を現化することにより目的とする研型 形状を保持するようにしたものである。

このように残水した簡型は容易に変形し、セラミツク成形品から取除くことができ、この細型は

水増性物質に水増度を含成させ、冷却または乾燥により硬化させることにより再使用することがで
e.s.

(見明の実施例)

以下この発明の実施例を具体的に説明する。

- 【1】 滑電ポリウレタン(教質)を用いてポンプケーシングの中子を成形し、塩化ナトリウム35m。水100mからなる水溶液を含度をせ、110で乾燥し、塩化ナトリウムを支充内に析出させて中子を硬化させた。次にクスラリーを注入し、ポンプケーシングを成りした。この順中子となり、ポンプケーシングを成形した。この順中子の正規をは作つて変形し、割れのないセラミンク点形品が場られた。
- (2) 発泡ポリビニルアルコールを用いてガス燃焼器の燃焼室の中子を成形し、炭酸カリウム 100部、水90部からなる水増板を含浸させ、180℃で乾燥して、炭酸カリウムを気 孔内に折出させ、中子を硬化させた。次にこ

の中子を石こう妻の外型を用いてセラミック スラリーを注入し、セラミック成形品を成形 した。この無中子は吸道により軟化し、セラミック成形品の裏層収縮に伴って変形し、割 れのないセラミック成形品が移られた。

- (3) 発泡ポリアミド樹脂(ナイロン)を用いてポンプケーシング用の中子を成形し、皮液液 りつム100部、水 8 0部からなおカリウム100部、水 8 0部からなおカリを を 気孔内に折出させて中子を 硬化させた。 次 にこの中子と石こう親の外型を用いて成形した。この様中子は 吸滤に伴つて 皮形した。この様のないセラミンク成形品が 6 られた。
- (4) 発布ポリプロピレンからなる燃焼室用中子に塩化カルシウム50番、水50番からなる 減合物を40℃に加熱して水溶液として含浸させ、室臓に冷却することによって高度させ、中子を硬化させた。この中子と石こう器の外

型を用いてセラミンクスラリーを注入し、セラミンク成形品を成形した。この順中子は吸 種により軟化し、セラミンクス裏面収縮に伴 つて疲形し、割れのないセラミンク成形品が 傾られた。

(5) ポリピニールアルコール(PVA-117)
20部、水80部、でんか5部、ホルマリン
12部、機能1部を加えて充分模件し、成時
用の金型に注入し、50℃で10時間ンプケー
たのち食型より取出体を成形した。次に動物
分を変更からないではないででで100分のからないではありないではありないではありないでででは、水800からないでは、100のからないでは、100のからないでは、100のからないでは、100のからないでは、100のからによりでは、100のからには、100のからには、100のないである。中では、100のないである。中では、100のないである。中では、100のないである。中では、100のないである。中では、100のないである。中では、100のないである。100のないである。100のないでは、100のないである。100のないでは、100のないでは、100のないである。100のないでは、100のないである。100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100のないでは、100

本例に示すように任意の意状のフォームブ

コスチックを成形し中子として使用すること が可能であり、気孔率、硬度等を任常に変更 することが可能であり、これに任意の水準性 化合物の水溶液を含浸させ、調体を折出させ ることにより乾燥さたは低温の状態で使形し 思い中子を得ることができる。

(6) 実施労るによって製作した中子を用いて観達したセラミンク成務品からフォームプラスチンク成務品からフォームプラステンクホ子を整えたのち接触カリシを整えたのち接触を含接をするで、 水80億 がいる の が の で で で で が 大き いん が で で が 大き いん の で で が 大き いん の で で は が で は 変 が し で いん の で は 変 が し で は 変 が し で は 変 が し で は 変 が し で は 変 が いん の で は 変 が いん の で は 変 が が いん の で は 変 が が いん の で いん の で は 変 が が いん の で は 変 が が いん の で は 変 が が られる。

〔是明の効果〕

以上表切したように、本発明によれば、単独の

状態を表しています。 は個別のないでは、 は個別としてでは、 は個別として、 は個別として、 は個別として、 はので、 はいいで、 はいで、 は

电重人 华亚十 双进闭法

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

□ OTHER: _____

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.